

国総施第 72号  
国総建第 147号  
国総振第 96号  
平成17年 9月22日

社団法人  
日本建設機械化協会 会長 殿

国土交通省総合政策局 建設施工企画課長



国土交通省総合政策局 建設業課長



国土交通省総合政策局 建設振興課長



リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について（8月分）

今般、国土交通省に対し、下記のリコールの届出がなされたところであるが、建設作業現場における当該建設機械の使用に際しては、事故防止の観点から貴団体傘下の会員各社に対し周知されたい。

記

1. 届 出 日 別紙のとおり
2. 届 出 者 〃
3. 建設機械名 〃
4. 通 称 名 〃
5. 型 式 〃
6. 不具合の部位 〃
7. 内 容 〃

※国土交通省のホームページに「リコール・改善対策の届け出」があったものを掲載しております。  
アドレスは下記のとおりです。

[http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall105/recall\\_.html](http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall105/recall_.html)

## 建設機械に係わるリコール届一覧 (期間:平成17年8月分)

番号	届出日	届出者	建設機械名	通称名	型式	不具合の部位	リコール対象台数
1	平成17年8月9日	(株)加藤製作所	ホイールクレーン	カトウKR-50H型ラフター	KR512,SD-KR512	原動機 (油圧検出部線手)	145台
2	平成17年8月11日	(株)小松製作所	グレーダ	GD305A-3,GD355A-3	G30A2	動力伝達装置 (タンデムドライブチェーン)	87台
3	平成17年8月11日	(株)小松製作所	グレーダ	GD305A-3,GD355A-3,GD405A-3	G30A2,G40A3	制動装置 (ブレーキライニング)	397台
4	平成17年8月11日	(株)小松製作所	グレーダ	GD305A-1,GD355A-1,GD405A-2,GD305A-3,GD355A-3,GD405A-3,GD405A-3,GD405A-3	G40A2,G30A2,G40A3,SC-GD002,SC-GD002A	かじ取り装置	3,926台

※詳細は別添の「リコール届け一覧表」を参照して下さい。

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室  
 TEL 03-5253-8111 内線42353  
 フォン : http://www.mlit.go.jp

## リコール届出一覧表

リコール届出日：平成17年8月8日

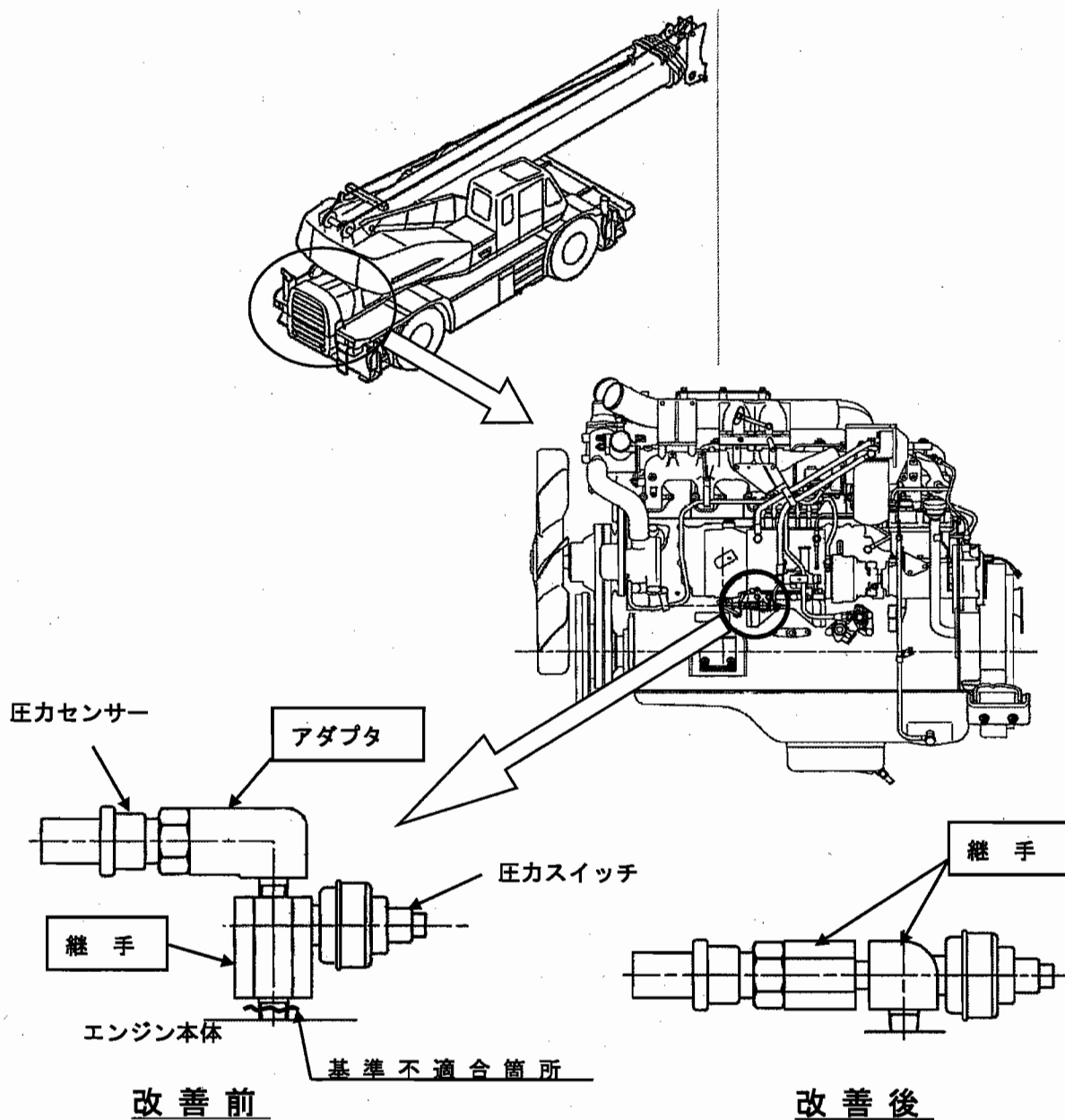
リコール届出番号	1498	リコール開始日	平成17年8月9日
届出者の氏名又は名称	株式会社 加藤製作所 取締役社長 加藤 公康		
	問い合わせ先：プロダクトサポート部 TEL 03-3458-1122		
不具合の部位(部品名)	原動機(油圧検出部継手)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	原動機の側面に取り付けられている油圧センサーの取り付け方法が不適切なため、原動機の振動により圧力センサーを取り付けるために装着した継手のねじ部に過大な力が加わり、亀裂を生じエンジンオイルが漏れるものがある。 そのため、そのまま使用を続けると当該ねじ部が破損して、最悪の場合エンジンが焼き付き、走行不能に至るおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、継手を形状変更した対策品と交換し、圧力センサーの原動機への取り付け位置を変更する。		
不具合件数	7件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用者：ダイレクトメールまたは直接訪問して通知する。</li> <li>・ 自動車分解整備業者：全ユーザーを把握しているため、周知のための措置はとらない。</li> <li>・ 改善措置実施済車には、運転者席後面ガラスの右下部に「No.1498」のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
カトウ	KR512	カトウ KR-50H型 ラフター	KR512-0151 ~ KR512-0273 平成14年4月22日~平成16年2月25日	123台	
カトウ	SD-KR512	カトウ KR-50H型 ラフター	KR512-1274 ~ KR512-1295 平成16年2月26日~平成16年5月21日	22台	
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間全体の範囲) 平成14年4月22日~平成16年5月21日	(計145台)	

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (CC))	備考
カトウ	KR512	カトウ KR-50H ラフター	大型特殊	ホイールクレーン	三菱 6D24 (11,945)	
カトウ	SD- KR512	カトウ KR-50H ラフター	大型特殊	ホイールクレーン	三菱 6D24 (11,945)	

# 改善箇所説明図



原動機の側面に取り付けられている油圧センサーの取り付け方法が不適切なため、原動機の振動により圧力センサーを取り付けるために装着した継手のねじ部に過大な力が加わり、亀裂を生じエンジンオイルが漏れるものがある。  
 そのため、そのまま使用を続けると当該ねじ部が破損して、最悪の場合エンジンが焼き付き、走行不能に至るおそれがある。

**改善の内容**  
 全車両、継手を形状変更した対策品と交換し、圧力センサーの原動機への取り付け位置を変更する。

注：  交換部品を示します。  
 識別：改善措置作業完了車には、交換継手に白色のペイントを付する。

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課  
 リコール対策室  
 TEL:03-5253-8111 内線 42-353  
 URL:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成17年8月11日

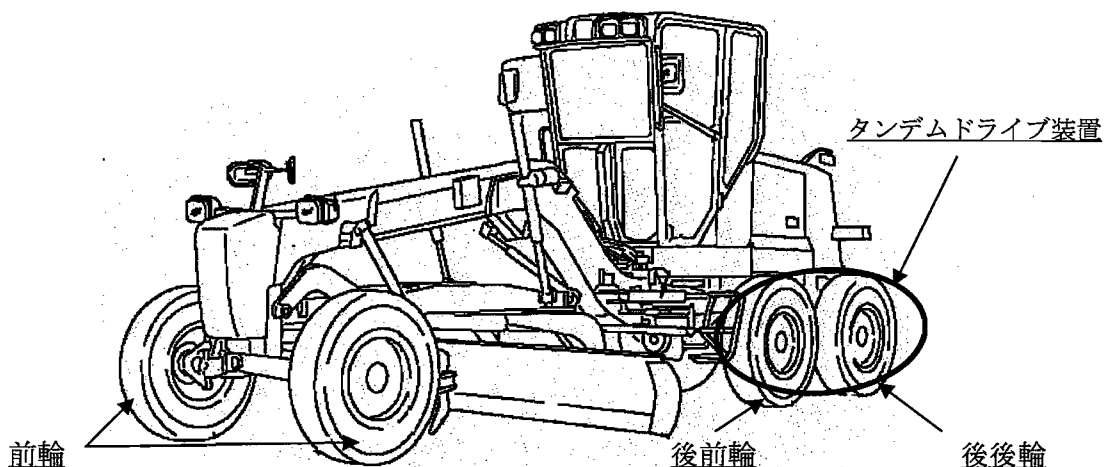
リコール届出番号	1491	リコール開始日	平成17年8月12日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根 正弘 製作者名:株式会社 小松製作所 問い合わせ先:品質保証部 03-5561-2686		
不適合の部位(部品名)	動力伝達装置(タンデムドライブチェーン)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	動力伝達装置において、第二減速機(タンデムドライブ装置)のチェーンの強度が不足していることから、主制動装置を連続して操作すると、ブレーキライニングの温度が上昇し、制動トルクが増大するため、当該チェーンが伸びることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、チェーンが破損し、チェーンがスプロケットに絡んで後前輪がひきずりを起こすおそれがある、または、ブレーキの効きが悪くなるおそれがある。		
改善措置の内容	後後輪に主制動装置一式を追加し、併せて倍力装置を交換する。		
不具合件数	13件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者を全て把握しており、直接電話等で連絡する。</li> <li>・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているので特に周知のための措置はとらない。</li> <li>・対策完了車には、ステッカ(No.1491)をキャブ後部窓内側左下または、後部左支柱内側上部に貼り付ける。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
小松	G30A2	GD305A-3	G30A2-8001~G30A2-8036 (平成9年12月11日~平成13年12月26日)	36	
		GD355A-3	G30A2-7002~G30A2-7052 (平成9年11月5日~平成14年1月15日)	51	
	(計1型式)	(計2機種)	(製作期間の全体の範囲) (平成9年11月5日~平成14年1月15日)	(計87台)	

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (cc))	備考
小松	G30A2	GD305A-3	大型特殊	グレーダ	4D102 (3,992)	
		GD355A-3				

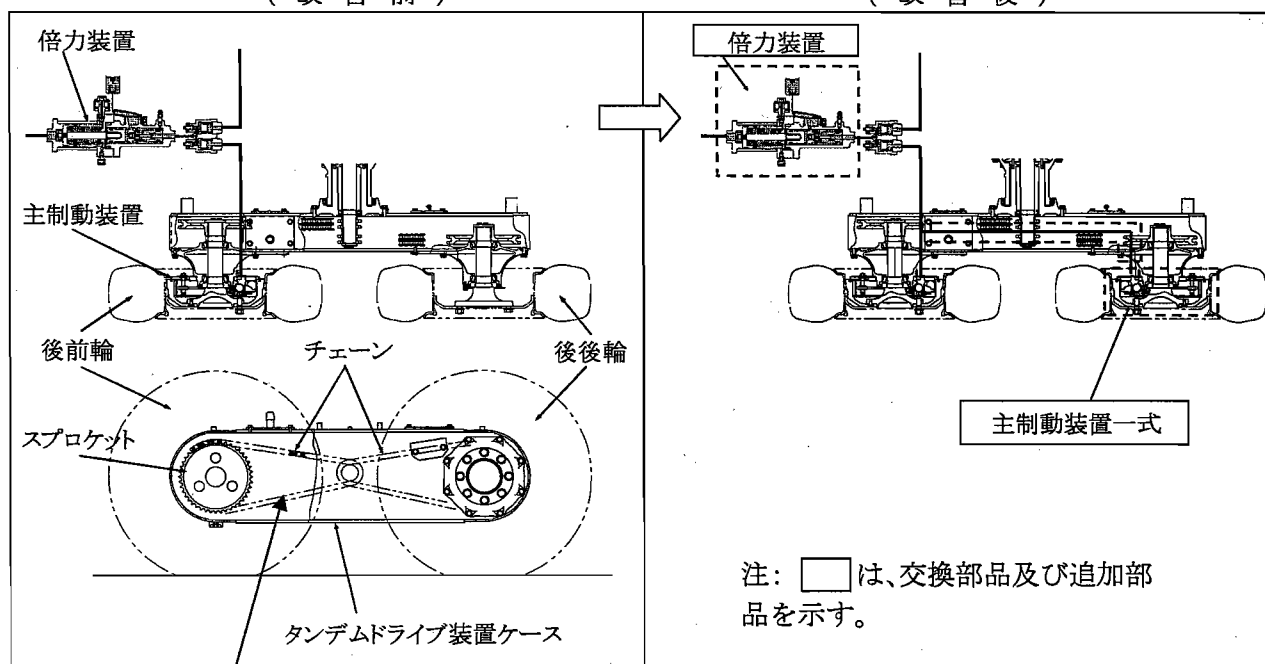
改善箇所説明図



タンデムドライブ装置

(改善前)

(改善後)



基準不適合箇所

動力伝達装置において、第二減速機（タンデムドライブ装置）のチェーンの強度が不足していることから、主制動装置を連続して操作すると、ブレーキライニングの温度が上昇し、制動トルクが増大するため、当該チェーンが伸びることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、チェーンが破損し、チェーンがスプロケットに絡んで後前輪がひきずりを起こすおそれがある、または、ブレーキの効きが悪くなるおそれがある。

改善処置の内容： 後後輪に主制動装置一式を追加し、併せて倍力装置を交換する。

識別： 後後輪に装着した主制動装置のダストカバー表面に白ペイントを塗布する。



連絡先:自動車交通局技術安全部審査課  
 リコール対策室  
 TEL:03-5253-8111 内線 42-353  
 URL:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成17年8月11日

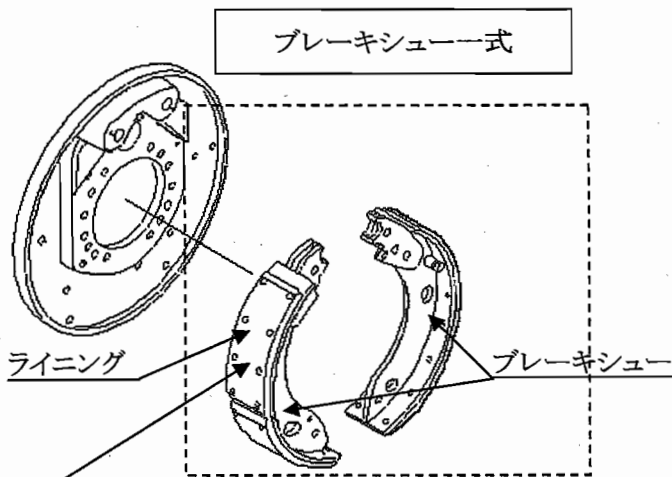
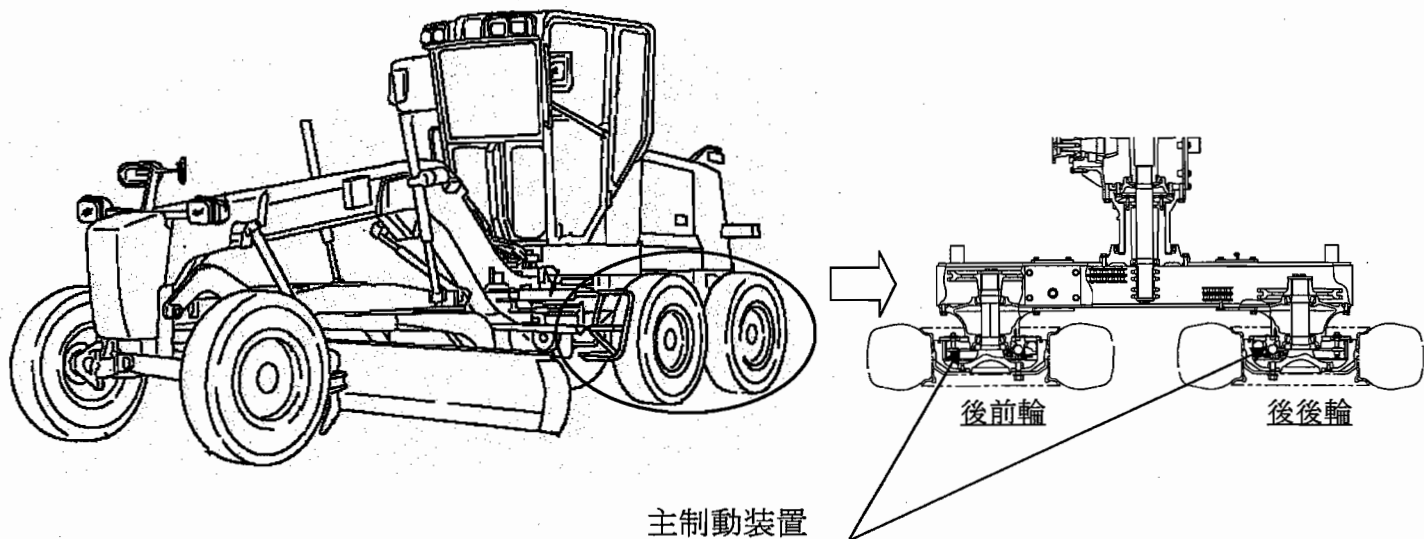
リコール届出番号	1492	リコール開始日	平成17年8月12日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根 正弘 ( 製作者名:株式会社 小松製作所 問い合わせ先:品質保証部 03-5561-2686 )		
不適合の部位(部品名)	制動装置(ブレーキライニング)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	主制動装置において、ブレーキシューとライニングの接合部の強度が不足しているため、ライニングに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ライニングが離脱し、最悪の場合、当該車輪のブレーキが効かなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	ブレーキシュー一式を対策品と交換する。		
不具合件数	6件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者を全て把握しており、直接電話等で連絡する。</li> <li>・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているので特に周知のための措置はとらない。</li> <li>・対策完了車には、ステッカ(No.1492)をキャブ後部窓内側左下または、後部左支柱内側上部に貼り付ける。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
小松	G30A2	GD305A-3	G30A2-8001~G30A2-8006 (平成9年12月11日~平成10年6月1日)	6	
		GD355A-3	G30A2-7002~G30A2-7021 (平成9年11月5日~平成10年8月19日)	20	
	G40A3	GD405A-3	G40A3-5003~G40A3-5356 G40A3-4701~G40A3-4717 (平成10年9月21日~平成14年1月9日)	354 17	
			(計2型式)	(計3機種)	(製作期間の全体の範囲) (平成9年11月5日~平成14年1月9日)

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (cc))	備考
小松	G30A2	GD305A-3 GD355A-3	大型特殊 建設機械	グレーダ	4D102 (3,922)	
	G40A3	GD405A-3	大型特殊 建設機械	グレーダ	6D102 (5,883)	

改善箇所説明図 (G40A3 の例)



注) □ は、交換部品を示す。

基準不適合箇所

主制動装置において、ブレーキシューとライニングの接合部の強度が不足しているため、ライニングに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ライニングが離脱し、最悪の場合、当該車輪のブレーキが効かなくなるおそれがある。

改善措置の内容 : ブレーキシュー一式を対策品と交換する。

(対策品:ブレーキシューとライニングの接合をリベット接合からリベット及び接着剤による接合に変更)

識別 : 主制動装置のダストカバーに白ペイントを塗布する。

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課  
 リコール対策室  
 TEL:03-5253-8111 内線 42-353  
 URL:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成17年8月11日

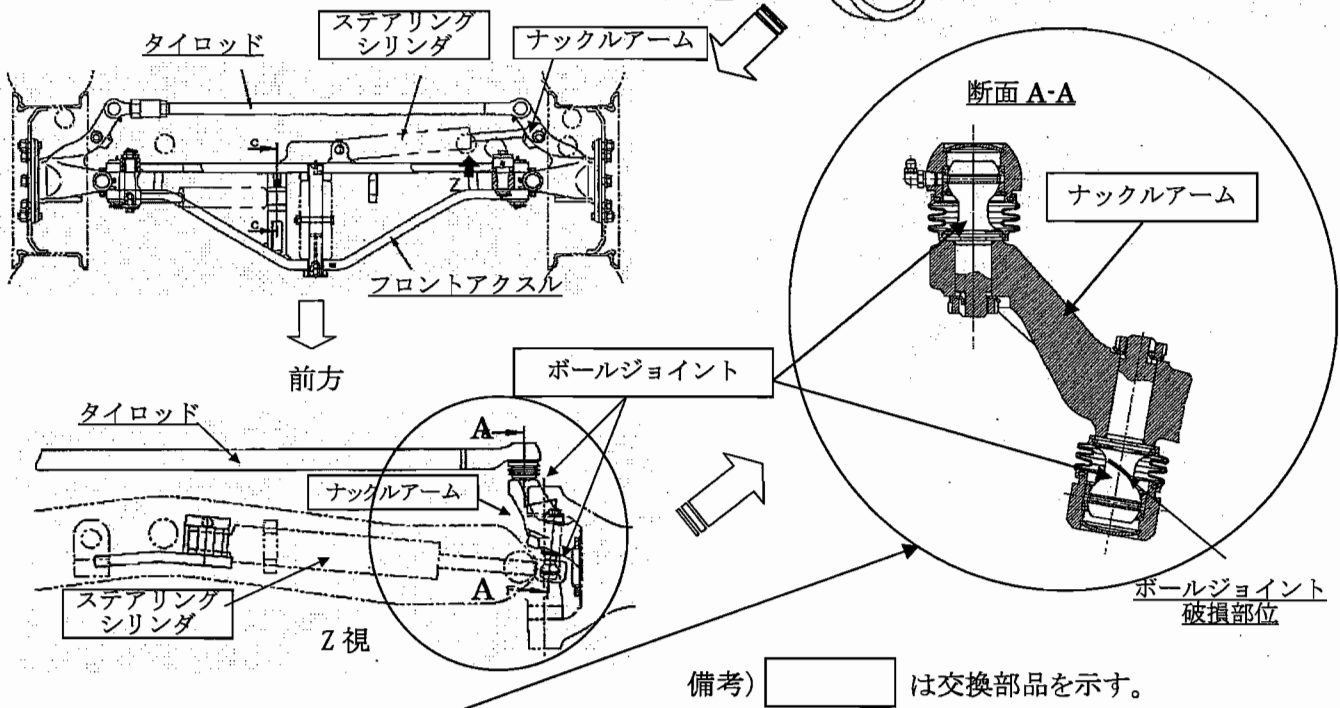
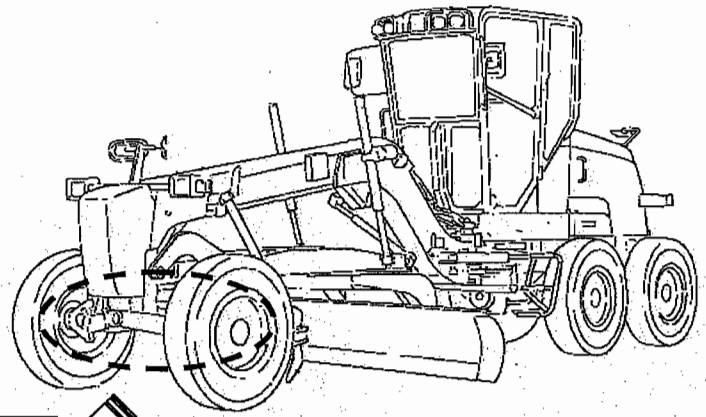
リコール届出番号	1499	リコール開始日	平成17年8月12日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根 正弘 (製作者名:株式会社 小松製作所 問い合わせ先:品質保証部 03-5561-2686)		
不適合の部位(部品名)	かじ取り装置		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① かじ取り装置において、ナックルアームとステアリングシリンダ又はタイロッドを連結するボールジョイントの取付け部の強度が不足しているため、作業中の衝撃等の過大な負荷が繰返し作用することにより、当該ボールジョイントを取付けるナットまたはボルトがゆるむものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、ボールジョイントが脱落し操舵ができなくなるおそれがある。 ② かじ取り装置において、ナックルアームとステアリングシリンダを連結するボールジョイントの強度が不足しているため、最大操舵等の負荷の高い操舵を頻繁に繰返すと、当該ボールジョイントに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると当該ボールジョイントの付け根部が破損し、操舵ができなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ボールジョイント、ナックルアーム及びステアリングシリンダを交換する。 なお、対策品の供給に時間を要すことから、当面の暫定処置として全ての使用者に不具合の内容を通知して、長期間使用している車両よりナックルアームの摩耗及びボールジョイントの亀裂を点検し、異常が認められる車両は対策品と交換し、異常のない車両は後日対策品と交換する。		
不具合件数	① 6件  ② 1件	事故の有無	① 1件(物損) なお、この他不適切な整備が原因で人身事故が1件発生している。 ② なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者を全て把握しており、直接電話等で連絡する。 ・使用者を全て把握しているので自動車分解整備事業者に周知のための措置は特にとらない。 ・対策完了車には、ステッカ(No.1499)をキャブ後部窓内側左下または、後部左支柱内側上部に貼り付ける。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象 車の台数	備考
小松	G40A2	GD305A-1	G40A2-6001～G40A2-6746 (昭和62年2月13日～平成9年9月26日)	325	
		GD355A-1	G40A2-5001～G40A2-5862 (昭和61年4月30日～平成8年10月2日)	544	
		GD405A-2	G40A2-1002～G40A2-4621 (昭和61年5月30日～平成9年11月26日)	2,305	
	G30A2	GD305A-3	G30A2-8001～G30A2-8036 (平成9年12月11日～平成13年12月26日)	36	
		GD355A-3	G30A2-7002～G30A2-7052 (平成9年11月5日～平成14年1月15日)	51	
	G40A3	GD405A-3	G40A3-4701～G40A3-5538 (平成10年9月21日～平成16年7月29日)	563	
コマツ	SC-GD002	GD405A-3	KMTGD002A26006001 ～KMTGD002A26006089 (平成16年8月19日～平成17年4月7日)	89	
	SC-GD002A	GD405A-3	GD002-6201～GD002-6213 (平成17年3月7日～平成17年7月22日)	13	
	(計5型式)	(計6車種)	(製作期間の全体の範囲) 昭和61年4月30日～平成17年7月22日	(計3,926台)	

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (cc))	備考
小松	G40A2	GD305A-1 GD355A-1 GD405A-2	大型特殊 建設機械	グレーダ	6D95L (4,890)	
	G30A2	GD305A-3 GD355A-3	大型特殊 建設機械	グレーダ	4D102 (3,922)	
	G40A3	GD405A-3	大型特殊 建設機械	グレーダ	6D102 (5,883)	
コマツ	SC-GD002	GD405A-3	大型特殊 建設機械	グレーダ	6D102 (5,883)	
	SC-GD002A	GD405A-3	大型特殊 建設機械	グレーダ	6D102 (5,883)	

改善箇所説明図 (G40A3 の例)



基準不適合箇所

- ① かじ取り装置において、ナックルアームとステアリングシリンダ又はタイロッドを連結するボールジョイントの取付け部の強度が不足しているため、作業中の衝撃等の過大な負荷が繰返し作用することにより、当該ボールジョイントを取付けるナットまたはボルトがゆるむものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、ボールジョイントが脱落し操舵ができなくなるおそれがある。
- ② かじ取り装置において、ナックルアームとステアリングシリンダを連結するボールジョイントの強度が不足しているため、最大操舵等の負荷の高い操舵を頻繁に繰返すと、当該ボールジョイントに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると当該ボールジョイントの付け根部が破損し、操舵ができなくなるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、ボールジョイント、ナックルアーム及びステアリングシリンダを交換する。

なお、対策品の供給に時間を要すことから、当面の暫定処置として全ての使用者に不具合の内容を通知して、長期間使用している車両よりナックルアームの摩耗及びボールジョイントの亀裂を点検し、異常が認められる車両は対策品と交換し、異常のない車両は後日対策品と交換する。

識別

ボールジョイントの取付けナット部に白色ペイントを塗布する。